

読書感想文

1 年齢にふさわしい内容の本を選ぶ

読書感想文を書く本を選ぶ際には、「年齢にふさわしい内容かどうか」が大切である。学校で設定している各学年のおすすめの本や教科書で紹介されている本、課題図書などを参考に選書する。

2 題名は簡潔に分かりやすくする

読書感想文の題名は、「簡潔に」「分かりやすく」を意識して書くとよい。本のタイトルや著者名、登場人物名を入れる方法や、本のテーマを題名に書いてしまう方法などがある。よりよい題名にするために読書感想文を書き終わった後に書いた内容と題名がふさわしいかを考えるとよい。

3 構成を考える

読書感想文を書く際には、あらかじめ構成メモを作り、感想文で伝えたいことが読み手にしっかり伝わるようにする。最初に構成を練っておくと、書いているうちに話があちこちに飛ぶということが少なくなり、主張や感想が明確になり、論理的な読書感想文に仕上がる。

構成例1

1. 初め…本を選んだ理由
2. 中1…心に残ったこと
3. 中2…体験・自分との比較
4. 終わり…読後の感想

構成例2

1. 書き出し…よく考える
2. あらすじ…できるだけ簡潔に
3. 主題…一番伝えたいこと
4. 結び…今後の自分

4 あらすじはできるだけ簡潔に書く

本の紹介文ではなく感想文なので、あらすじは短く簡潔にまとめるようにする。自分の言いたいことを読書感想文の読み手に伝えるために必要なことは何かを考え、主人公の性格や特徴、出来事、そのほかの登場人物などを含め、必要でないことは書かないようにする。ふだんから5W1H「いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どうやって・どのように」を子どもに意識させて文章を書かせるようにしておくとうい。構成例2のようにはじめにあらすじを書く方法もあるが、あらすじを書きすぎてしまうと、感想文としての面白みに欠けるので、書きすぎないように注意する。

5 書き出しを工夫する

- 本の中の印象に残った言葉から書き出す
- 身近な人との会話文から書き出す
- 本を選んだ理由から書き出す
- 本を読んで強く感じたことから書き出す
- 本を読んで疑問に思ったことから書き出す

6 印象に残る締めくくりにする

読書感想文の締めくくりでは、「その本を読んで何を感じ、何を伝えたかったのか」ができるだけ読み手の心に残るように書くことが重要になる。本の内容に自分の経験を重ねて自分の考えを述べるのが大切だが、自分の考えだけを書くと意見文になってしまい、本を読んで得た感動が薄れてしまう。登場人物と自分を比べてその違いを述べ、登場人物が自分にどんな影響を与え、読後に自分はどんな成長をすることができたかを書くと、説得力のある読書感想文になる。

読書感想文を書く前に指導したいこと

- 1 構想メモの立て方の練習…日常の作文メモやスピーチメモなど
- 2 原稿用紙の使い方…題名の書き方・段落替えの表記の仕方など
- 3 会話文の書き方…改行の仕方など
- 4 句読点の書き方…句読点の位置など
- 5 文末の表現…常体か敬体か・低学年の話し言葉や手紙形式など
- 6 優秀な感想文の読み聞かせ…読書感想文集など

読書感想文ワークシート ()

はじめ	<p>わたしは、<input data-bbox="507 273 1436 389" type="text"/></p> <p>という本を読みました。読んだきっかけは、(～です。)</p> <input data-bbox="296 483 1436 734" type="text"/>
なか	<p>一番心に残ったのは、</p> <input data-bbox="296 875 1436 1160" type="text"/>
おわり	<p>この本を読んで、～ (考えたこと・学んだこと・これからの自分)</p> <input data-bbox="308 1682 1449 2018" type="text"/>